

令和6年度 千代川水害タイムライン検討会（第13回） 検討会資料

5. 情報伝達訓練

令和6年7月4日

はじめに

- 本資料の一部は、「千代川水害タイムライン運用方法」の記載を踏まえて作成しています。該当ページをスライドに記載しておりますので、必要に応じてご参照ください。

運用方法のページ番号を記載

1. 千代川水害タイムライン検討経緯

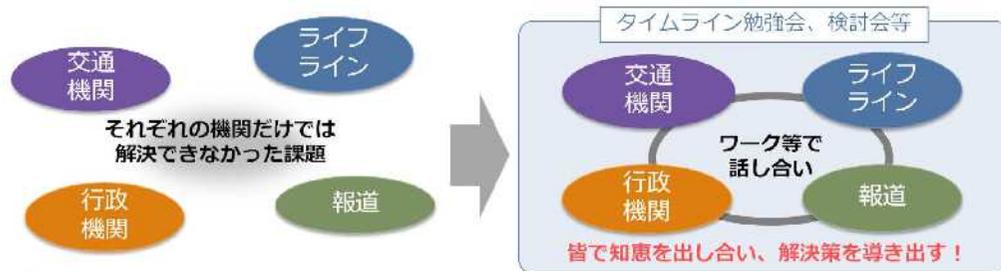
タイムラインとは

※運用方法 P2~4参照

- 「いつ」「誰が」「何を」の3つの要素を、千代川の防災に係れる組織が連携し、災害に対するそれぞれの役割や対応行動を定めた計画であり、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指した計画です。
- タイムラインの作成・運用により、関係機関で連携した避難の呼びかけや、先を見越した浸水防止対策等の事前対応を実現し、**住民の命を守る**、さらに**経済被害を最小化**することを目指しています。

タイムラインを導入するメリット

- ① 災害対応の**抜け、漏れ、落ちがないように、チェック**が可能になります。
- ② 「**先を見越した対応**」が可能となる。
- ③ 関係機関との協働作業で「**顔の見える関係**」が構築できる。
- ④ 「**相互の役割分担**」が明確になる。



イメージ

千代川水害タイムライン運用方法

(令和6年度)

(案)

千代川水害タイムライン検討会

情報伝達訓練の実施目的

- 新任者を対象に、**タイムラインレベルの移行、タイムラインやポータルサイトの確認方法、情報伝達の流れ**等を理解していただく。
- 参加機関の皆様、**昨年度の出水対応について振り返り、議論**いただく。
- **本年度施行版の移行トリガーへの理解**を深めていただく。

訓練テーマ

行動内容に関する課題
(連携先、連絡手段等)

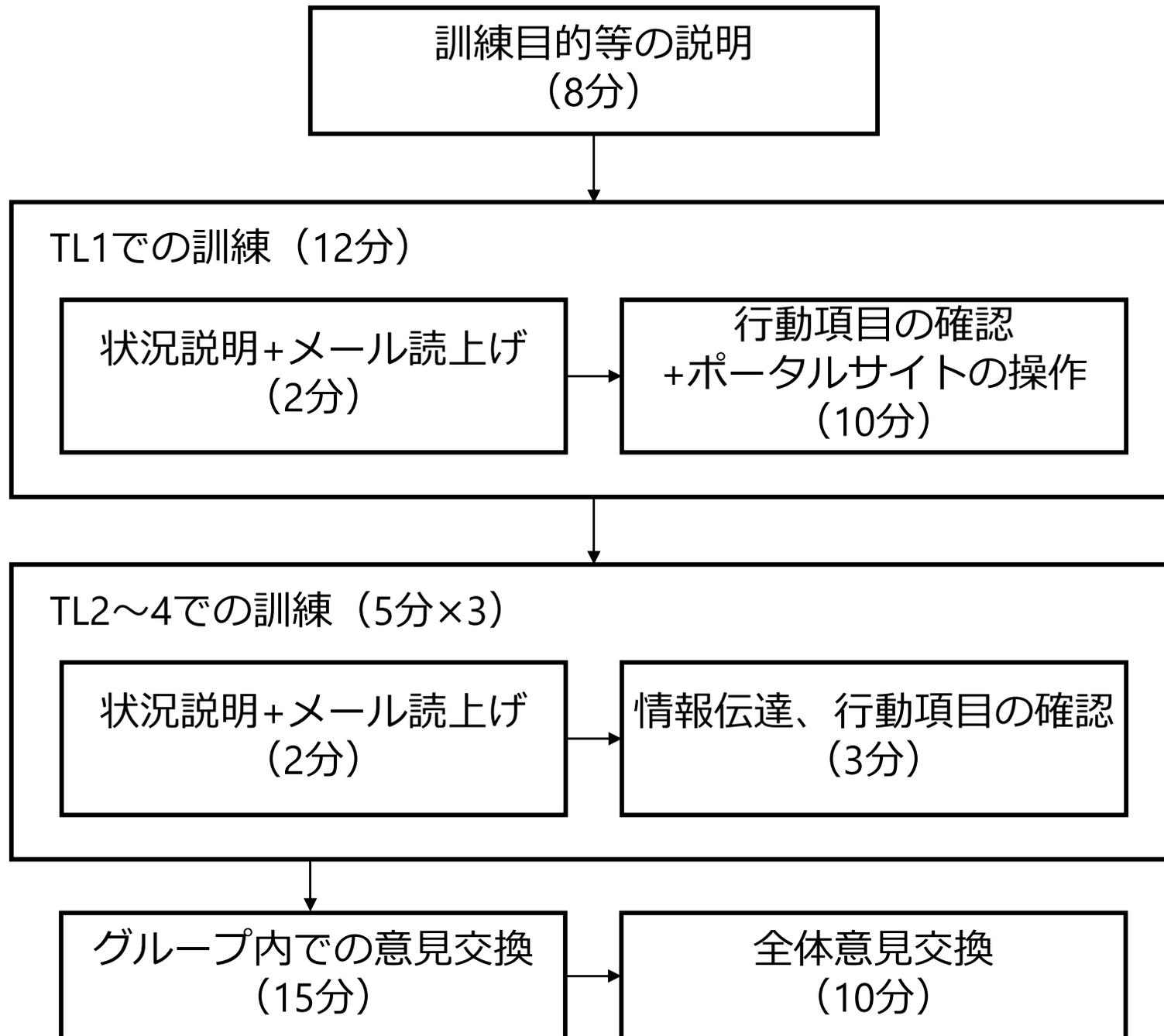
短時間での対応の課題
(線状降水帯等)

その他

※ 参加機関による読み上げ（情報伝達）と意見交換を実施します。



情報伝達訓練全体の流れ



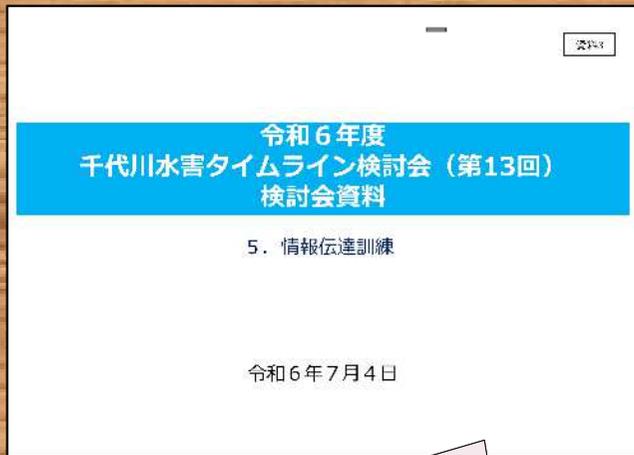
※ 合計 60分

資料の確認

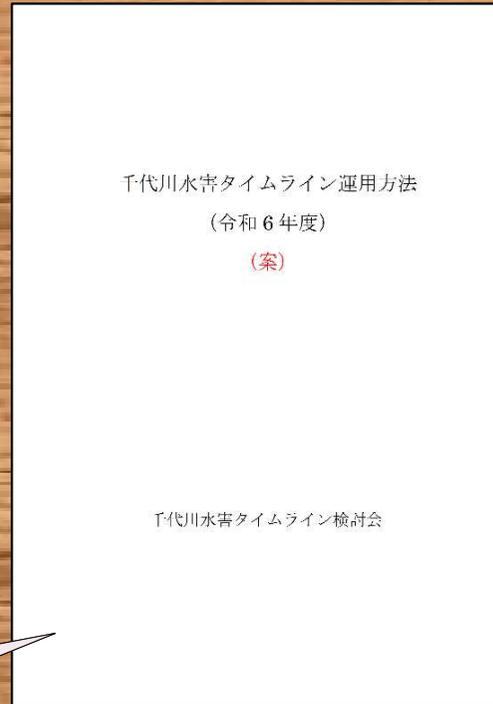
➤ 本日使用する資料をご確認ください。

- ①情報伝達訓練資料（本資料）
- ②千代川水害タイムライン運用方法
- ③千代川水害タイムライン【詳細版】
- ④ワークシート（資料4）・・・訓練後回収いたします。

③ 千代川水害タイムライン【詳細版】



① 情報伝達訓練資料（本資料）



② 千代川水害タイムライン運用方法

災害種別	発生場所	発生時刻	被害状況	対応状況	備考
洪水	千代川	7月4日 15:00	千代川水位急上昇	警戒レベル1に引き上げ	
土砂災害	千代川沿道	7月4日 16:00	土砂崩壊	警戒レベル2に引き上げ	
浸水	千代川沿道	7月4日 17:00	沿道浸水	警戒レベル3に引き上げ	
土砂災害	千代川沿道	7月4日 18:00	土砂崩壊	警戒レベル4に引き上げ	
浸水	千代川沿道	7月4日 19:00	沿道浸水	警戒レベル5に引き上げ	

ワークシート (TLレベル1~2)

時刻	災害種別	発生場所	発生時刻	被害状況	対応状況	備考
15:00	洪水	千代川	7月4日 15:00	千代川水位急上昇	警戒レベル1に引き上げ	
16:00	土砂災害	千代川沿道	7月4日 16:00	土砂崩壊	警戒レベル2に引き上げ	
17:00	浸水	千代川沿道	7月4日 17:00	沿道浸水	警戒レベル3に引き上げ	
18:00	土砂災害	千代川沿道	7月4日 18:00	土砂崩壊	警戒レベル4に引き上げ	
19:00	浸水	千代川沿道	7月4日 19:00	沿道浸水	警戒レベル5に引き上げ	

④ ワークシート

⇒訓練中・議論時にご記入ください

訓練の進め方

- 訓練は、「千代川水害タイムライン運用方法」を踏まえ進めていきます。ここで、運用方法についてご説明しますので、お手元の冊子をご確認ください。

千代川水害タイムライン運用方法

(令和6年度)

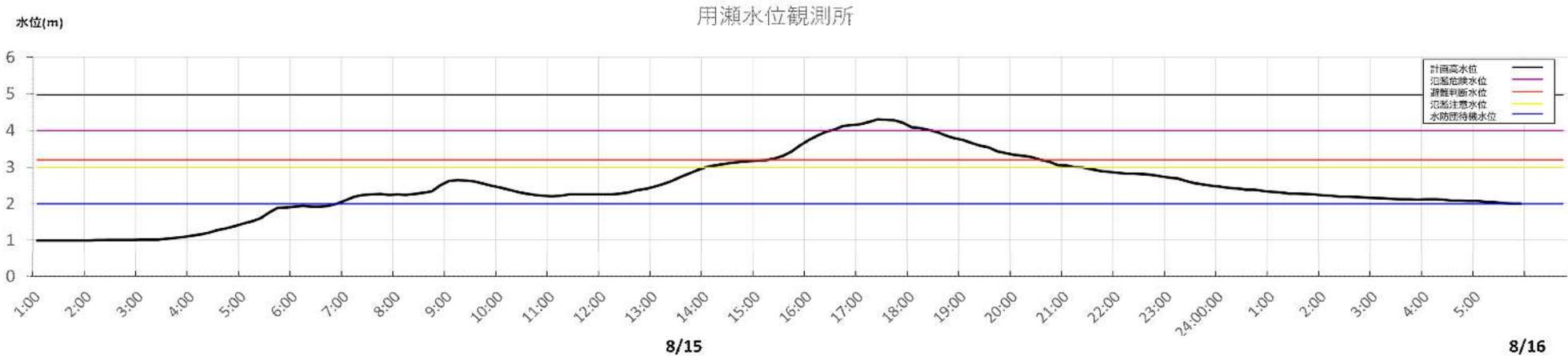
(案)

千代川水害タイムライン検討会

情報伝達訓練の想定シナリオ

※運用方法 P.11~14 参照

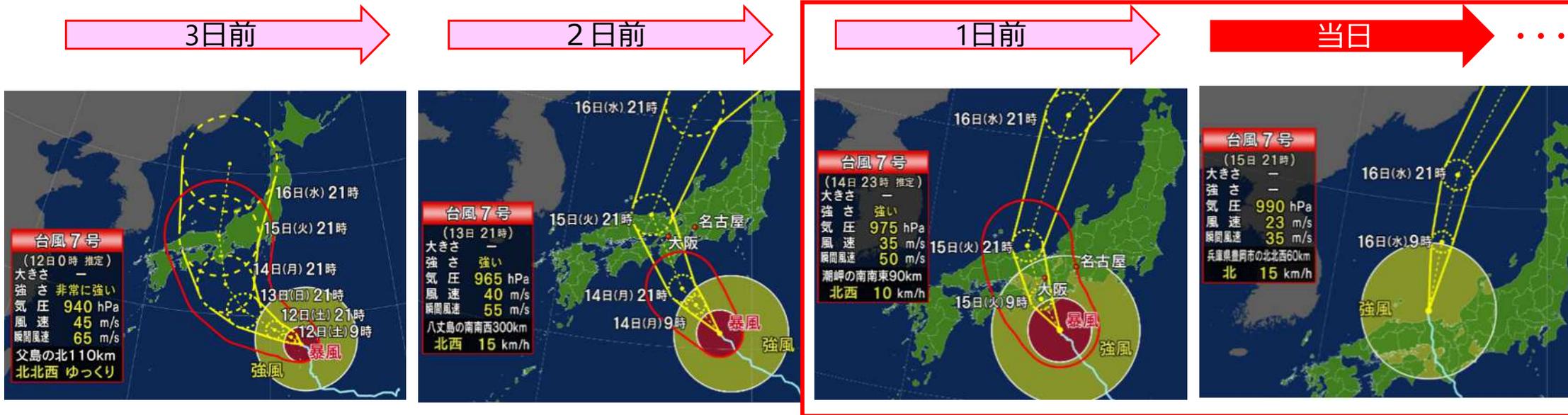
- ▶ 令和5年度 台風7号による千代川の水位上昇をシナリオとします。
- ※ 今年度の出水期から施行する、**水位及び指定河川洪水予報を優先としたトリガーで、タイムラインレベルが移行したシナリオとします。**
- ⇒ 台風7号での出水対応を振り返るとともに、**施行版トリガーの理解を促進**



R6年度施行版のタイムラインレベル		1		2		3		4		3		2			
千代川水系 (大臣管理区間)	用瀬			水防団待機・氾濫注意				避難判断	氾濫危険	避難判断			水防団待機・氾濫注意		
		8/15 6:00		12:00		18:00		8/16 0:00							

訓練で想定する状況

➤ 令和5年度 台風7号を想定した訓練とします。



【出典：NHKより：<https://www3.nhk.or.jp/news/saigai.html>】

- 非常に強い台風
- 父島の北約110 km
- 北北西にゆっくり進む

- 強い台風
- 八丈島の南南西30 km
- 15 km/hで北西に進む

- 強い台風
- 潮岬の南南東90 km
- 15 km/hで北西に進む

- 豊岡市の北北西約60 km
- 15km/hrで北に進む

本訓練の対象範囲

TLレベル
イメージ



訓練での行動項目

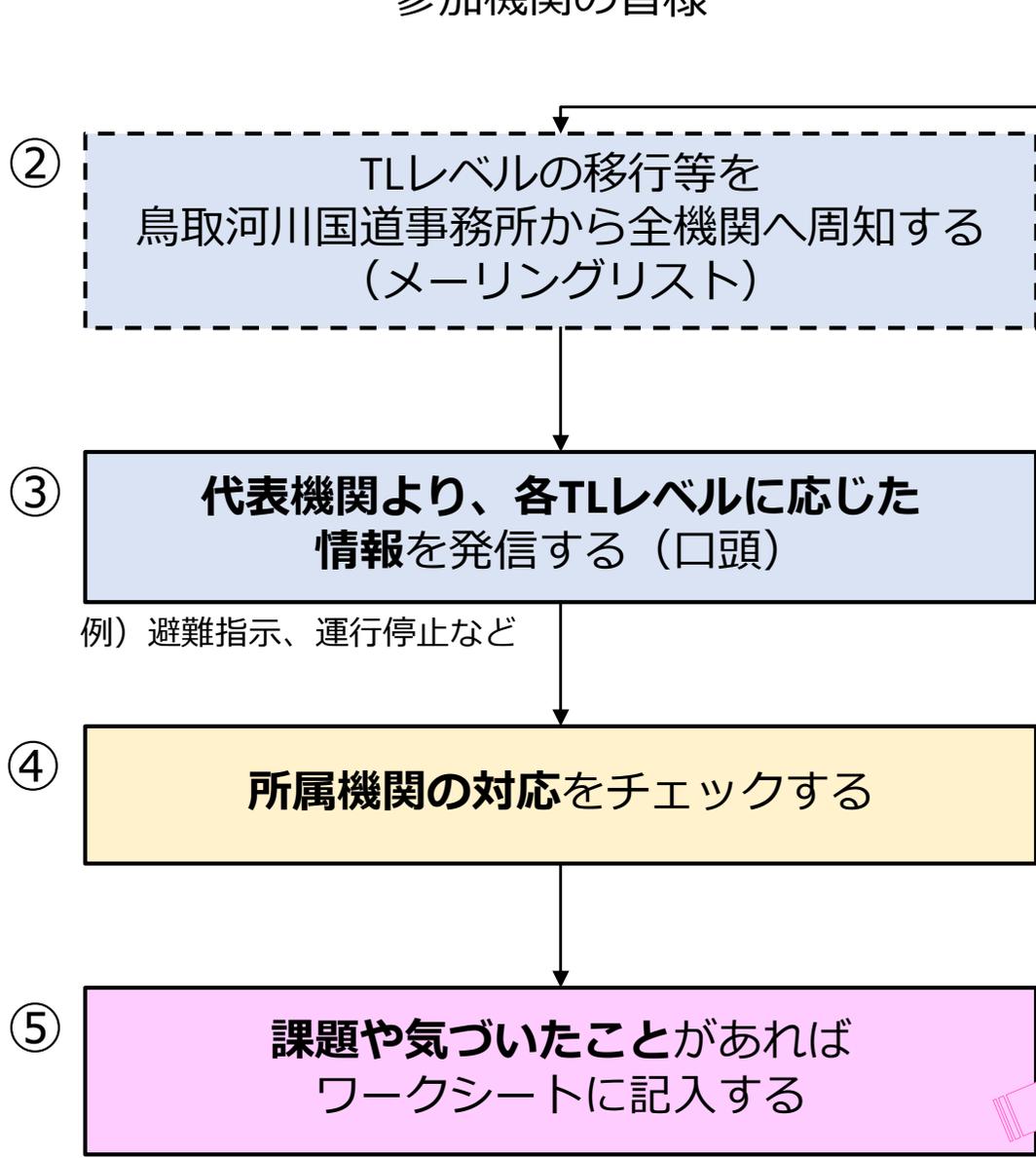
➤ 連携が必要になる項目を中心に、訓練を行います。

訓練No.	項目No.	TLレベル	行動項目		発信機関	備考
1-1	104	1	タイムラインレベルの移行	タイムラインレベルの移行判断・発信	鳥取河川国道事務所 河川管理課	
1-2	106	1	河川情報の収集	鳥取県の気象情報の確認	全機関	本項目のみ情報収集
2-1	192	2	水防警報の実施	水防警報の発令	鳥取河川国道事務所 河川管理課	
2-2	195	2		水防警報の情報受け、水防団への指示（出動）	鳥取市	
3-1	312	3	避難情報の発令	避難指示の発表	鳥取市	
3-2	340	3	住民避難	避難誘導の実施	郡家警察署	
4-1	485	4	バスの運休対応	バスの運行停止	日本交通	
4-2	517	4	交通情報の報道	交通情報の速報対応	日本海ケーブルネットワーク(株) メディア推進部	

訓練の基本的な流れ

参加機関の皆様

事務局側



① TLレベルごとの状況を共有する

【凡例】

- 状況イメージ
- 共有情報
- 所属機関の対応
- 課題、気づき

ワークシート

ワークシート (TLレベル1~2)

TLレベル	担当機関	実施内容	実施状況	備考
104	水防課	水防課の対応確認		
105	水防課	水防課の対応確認		
106	水防課	水防課の対応確認		

訓練の基本的な流れ

- ワークシートには、水害時の連携に関する各種の課題をテーマとして記載しております。
- テーマに沿って、ご意見がございましたら、レベルごとに記入をお願いします。
- ワークシートにご記入いただいた内容に沿って、意見交換をしていただきます。

訓練中でも結構ですので、記入をお願いします。

所管課名		訓練で取り扱う行動項目に限らず、TLレベル全体の行動内容についてご意見がございましたらご記入ください。			
TLレベル	訓練での行動項目	行動内容に関する課題 (連携先、連絡手段等)	短時間での対応に関する課題 (線状降水帯等)	その他	
レベル1	104	タイムラインレベルの移行手順・発注			
	106	河川情報の取集 発注時の気象情報の確認			
レベル2	192	水防団員の発令			
	195	水防団員の発令 発令し、水防団への指示(出陣)			
レベル3	312	避難指示の発令			
	340	避難指示の発令			
レベル4	483	バス等の確保			
	515	交通手段の確保			

テーマ
行動内容に関する課題 (連携先、連絡手段等)
短時間での対応の課題 (線状降水帯等)
その他

本訓練で取り扱う行動項目以外について記載いただいても構いません。



ここから訓練を開始します

訓練項目

➤ TL1では、以下の行動項目で訓練を行います。

訓練No.	項目No.	TLレベル	行動項目		発信機関	備考
1-1	104	1	タイムラインレベルの移行	タイムラインレベルの移行判断・発信	鳥取河川国道事務所 河川管理課	
1-2	106	1	河川情報の収集	鳥取県の気象情報の確認	全機関	本項目のみ情報収集
2-1	192	2	水防警報の実施	水防警報の発令	鳥取河川国道事務所 河川管理課	
2-2	195	2		水防警報の情報受け、水防団への指示（出動）	鳥取市	
3-1	312	3	避難情報の発令	避難指示の発表	鳥取市	
3-2	340	3	住民避難	避難誘導の実施	郡家警察署	
4-1	485	4	バスの運休対応	バスの運行停止	日本交通	
4-2	517	4	交通情報の報道	交通情報の速報対応	日本海ケーブルネットワーク(株) メディア推進部	

状況 タイムラインレベル1

・台風情報、翌日までの早期注意情報（警報級（大雨）の可能性）

➤ 台風7号の進路予測

8月14日12時 現在



台風第7号(ラン)
8月14日12時の実況

大きさ -
強さ 強い
存在地域 潮岬の南東約210km
中心位置 北緯32度00分
東経137度10分
進行方向、速さ 北西 15 km/h
中心気圧 965 hPa
最大風速 40 m/s
最大瞬間風速 55 m/s
25m/s以上の暴風域 全域 130 km

強い台風第7号は、日本の南を北上して、15日は中国地方にかなり接近し、その後、16日は日本海を北へ進む見込みです。

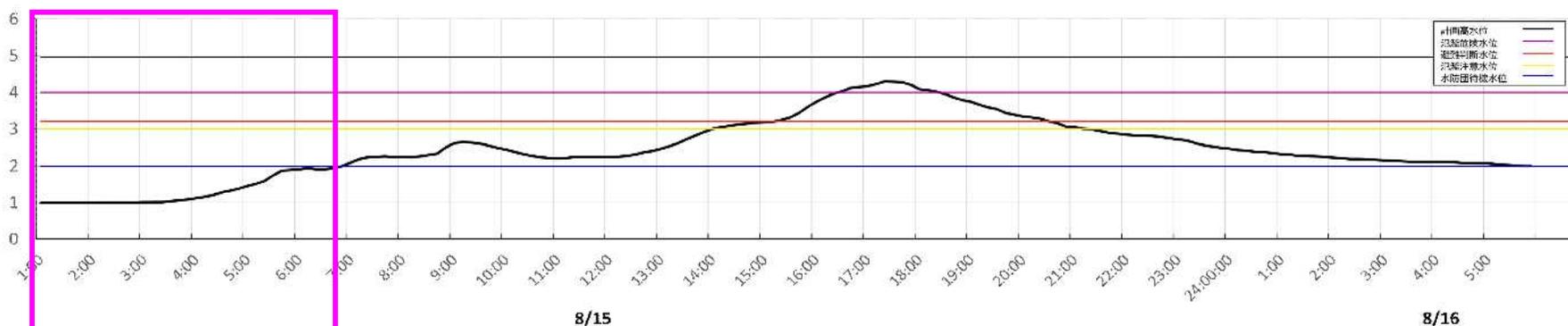
➤ 早期警戒情報

8月14日12時 現在

	14日				15日								16日			
	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
台風最接近										◎	◎					
大雨の早期注意情報							中	中	高	高	高	高	高	高	中	
暴風の早期注意情報									中	中	中					
大雨(浸水)(R1)	5	10	15	20	20	30	30	40	50	50	40	30				
大雨(土砂)																
風(メートル)	東部	陸上 6 ↓	7 ↓	8 ↓	10 ↓	10 ↓	12 ↓	13 ↓	15 ↓	18 ↓	18 ↓	18 ↓	15 ↓			
	海上	10 ↓	10 ↓	11 ↓	12 ↓	13 ↓	15 ↓	18 ↓	20 ↓	23 ↓	23 ↓	23 ↓	20 ↓			
中・西部	陸上	6 ↓	8 ↓	8 ↓	10 ↓	10 ↓	12 ↓	13 ↓	15 ↓	18 ↓	18 ↓	18 ↓	15 ↓			
	海上	10 ↓	10 ↓	11 ↓	12 ↓	13 ↓	15 ↓	18 ↓	20 ↓	23 ↓	23 ↓	23 ↓	20 ↓			
波浪(メートル)	東部	2	2	2	2.5	2.5	3	3	4	4	5	5	4			
	中・西部	2	2	2	2.5	2.5	3	3	4	4	5	5	4			
雷	東部				注	注	注	注	注	注	注	注	注			
	中・西部				注	注	注	注	注	注	注	注	注			
高潮(メートル)	東部	0.6	0.6	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6			
	中・西部	0.7	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8	0.6	0.5			

警報級 注意報級

水位(m)



用瀬水位観測所

タイムラインレベル	1	2	3	4	3	2
千代川水系 (大庄管理区間) 河川水位						
用瀬						
水防団待機・氾濫注意						
避難判断						
氾濫高域						
水防団待機・氾濫注意						

項目No.104 タイムラインレベルの移行判断・発信

鳥取河川国道事務所 河川管理課

※運用方法 P.17～20 参照

- ▶ タイムラインの発動時・レベル移行時には、鳥取河川国道事務所から検討会メンバー宛に、メールが届きます。

千代川水害タイムライン検討会メンバー各位

鳥取河川国道事務所河川管理課より、以下のとおり連絡します。

【重要】タイムライン段階（レベル）について

■千代川水害TLレベル1

主文：8月14日（日）12時00分に千代川水害タイムラインのレベルをレベル1に移行します。

理由：翌日までの早期注意情報（警報級（大雨）の可能性）を踏まえて移行。

千代川水害タイムラインポータルサイト

https://

新URL

https://

タイムラインレベル0-2→1

項目No.106 鳥取県の気象情報の確認

全機関

※運用方法 P.21～22 参照

- ポータルサイトを活用した、情報収集訓練を行います。
- 情報収集の例として、「No.106 鳥取県の気象警報・注意報を確認」を行います。
- 以下のURL又はQRコードから、ポータルサイトにアクセスをしてください。

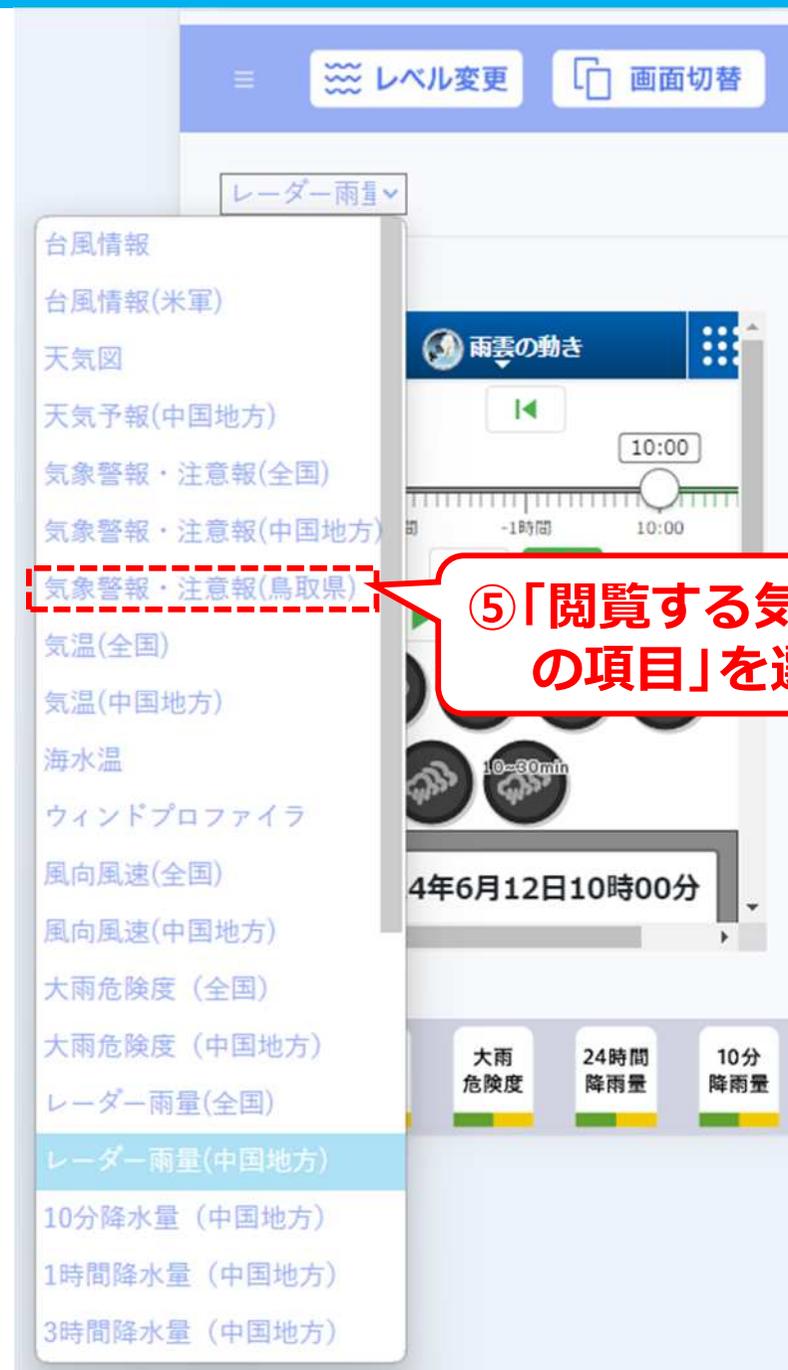
□アクセス先

<https://>

項目No.106 鳥取県の気象情報の確認 全機関（ポータルサイトの活用方法）



項目No.106 鳥取県の気象情報の確認 全機関（ポータルサイトの活用方法）



項目No.106 鳥取県の気象情報の確認 全機関（ポータルサイトの活用方法）



訓練項目

➤ TL2では、以下の行動項目で訓練を行います。

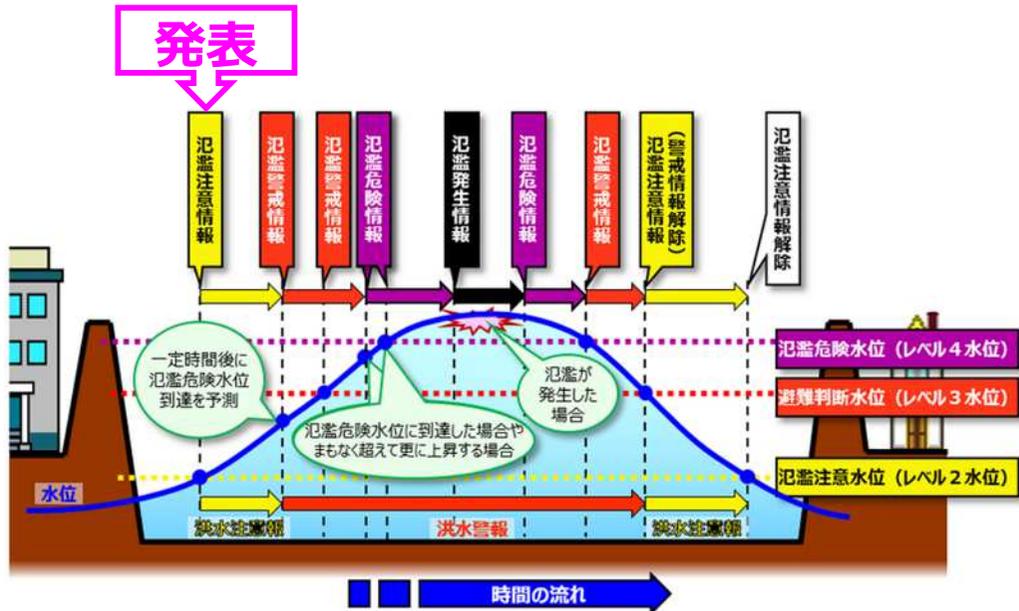
訓練No.	項目No.	TLレベル	行動項目		発信機関	備考
1-1	104	1	タイムラインレベルの移行	タイムラインレベルの移行判断・発信	鳥取河川国道事務所 河川管理課	
1-2	106	1	河川情報の収集	鳥取県の気象情報の確認	全機関	本項目のみ情報収集
2-1	192	2	水防警報の実施	水防警報の発令	鳥取河川国道事務所 河川管理課	
2-2	195	2		水防警報の情報受け、水防団への指示（出動）	鳥取市	
3-1	312	3	避難情報の発令	避難指示の発表	鳥取市	
3-2	340	3	住民避難	避難誘導の実施	郡家警察署	
4-1	485	4	バスの運休対応	バスの運行停止	日本交通	
4-2	517	4	交通情報の報道	交通情報の速報対応	日本海ケーブルネットワーク(株) メディア推進部	

状況 タイムラインレベル2

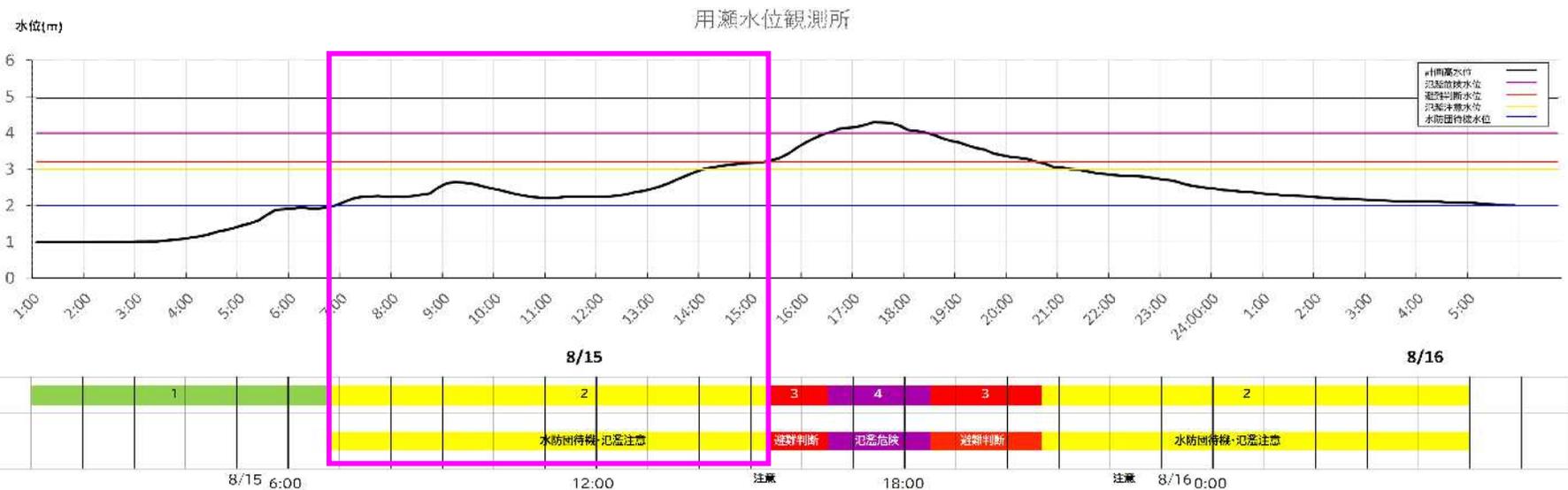
いずれかの水位観測所で水防団待機水位または氾濫注意水位の超過、氾濫注意情報の発表

➤ 河川水位と危険度レベル

➤ 災害の発生イメージ



小貝川での水防活動の様子
(平成26年10月 茨城県筑西市消防団)
【出典：国土交通省 HPより】



項目No.165 タイムラインレベルの移行判断・発信

鳥取河川国道事務所 河川管理課

※運用方法 P.17～20 参照

- ▶ タイムラインの発動時・レベル移行時には、鳥取河川国道事務所から検討会メンバー宛に、メールが届きます。

千代川水害タイムライン検討会メンバー各位

鳥取河川国道事務所河川管理課より、以下のとおり連絡します。

【重要】タイムライン段階（レベル）について

■千代川水害TLレベル2

主文：8月15日（月）6時50分に千代川水害タイムラインのレベルをレベル2に移行します。

理由：用瀬水位観測所の水位が水防団待機水位に達したため。

千代川水害タイムラインポータルサイト

https://

新URL

https://

タイムラインレベル1→2

項目No.192 水防警報の発令

鳥取河川国道事務所 河川管理課

【水防団の皆様へ】千代川 水防警報（出動）発令

2023年08月15日



水防団の皆様への情報です。

8月15日14時40分 国土交通省鳥取河川国道事務所 発表

- ・発令河川：千代川（行徳観測所）
- ・8時10分発令 水防警報【待機】
※関係する水防団は、状況に応じて直ちに出勤できるよう待機してください。
- ・14時40分発令 水防警報【準備】
※関係する水防団は、資機材・通信・輸送等の確保を行ってください。
- ・16時00分発令 水防警報【出動】
※関係する水防団は、市町村の指示に従って出勤してください。

情報発信：鳥取県庁県土整備部河川課

※川の防災情報（雨量・水位等） <https://www.river.go.jp/>

<下から発表箇所のリンクを一つ選ぶこと>

※千代川ライブカメラ（鳥取河川国道事務所） http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/livecam_river/index.html

※天神川水系防災ページ（倉吉河川国道事務所） <http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/river/bosai/bosai.htm>

※日野川ライブ映像（日野川河川事務所） <http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/cameratop/index.html>



小貝川での水防活動の様子
(平成26年10月 茨城県筑西市消防団)
【出典：国土交通省 HPより】

【出典： <https://www.nnn.co.jp/articles/-/116583>】

項目No.195 水防警報の情報受け、水防団への指示(出動)

鳥取市



土のう設置



浸水時の避難誘導



排水作業の様子



シート張り工法

全国水防管理団体連合会HP (<https://www.zensuikan.jp/011setti/001.html>) より

訓練項目

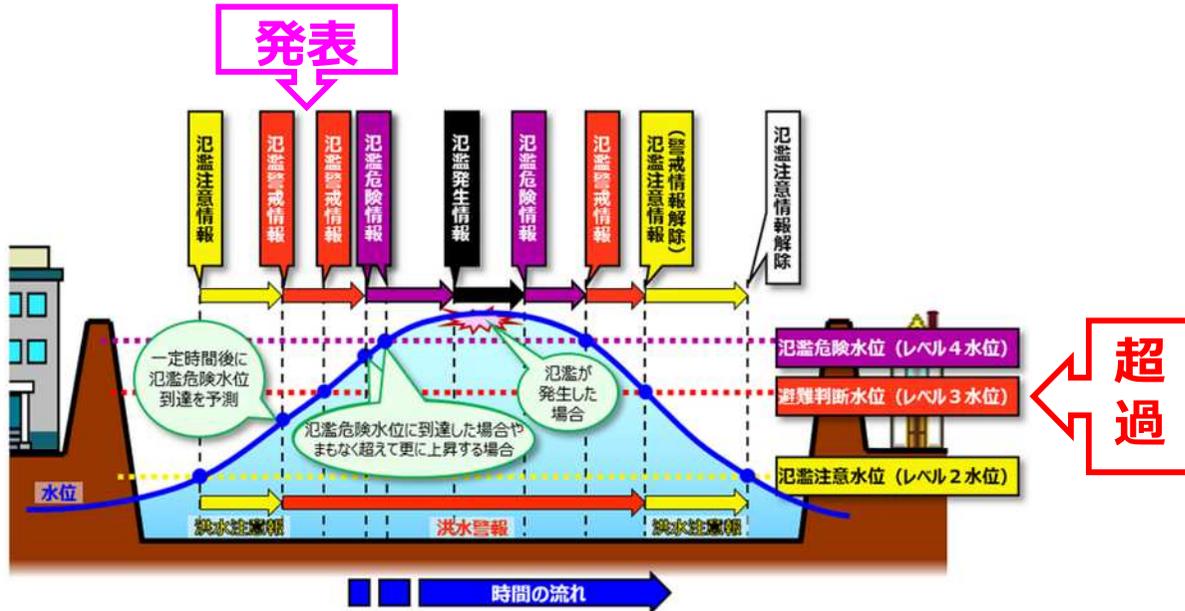
➤ TL3では、以下の行動項目で訓練を行います。

訓練No.	項目No.	TLレベル	行動項目		発信機関	備考
1-1	104	1	タイムラインレベルの移行	タイムラインレベルの移行判断・発信	鳥取河川国道事務所 河川管理課	
1-2	106	1	河川情報の収集	鳥取県の気象情報の確認	全機関	本項目のみ情報収集
2-1	192	2	水防警報の実施	水防警報の発令	鳥取河川国道事務所 河川管理課	
2-2	195	2		水防警報の情報受け、水防団への指示（出動）	鳥取市	
3-1	312	3	避難情報の発令	避難指示の発表	鳥取市	
3-2	340	3	住民避難	避難誘導の実施	郡家警察署	
4-1	485	4	バスの運休対応	バスの運行停止	日本交通	
4-2	517	4	交通情報の報道	交通情報の速報対応	日本海ケーブルネットワーク(株) メディア推進部	

状況 タイムラインレベル3

いずれかの水位観測所で避難判断水位の超過、氾濫警戒情報の発表

河川水位と危険度レベル

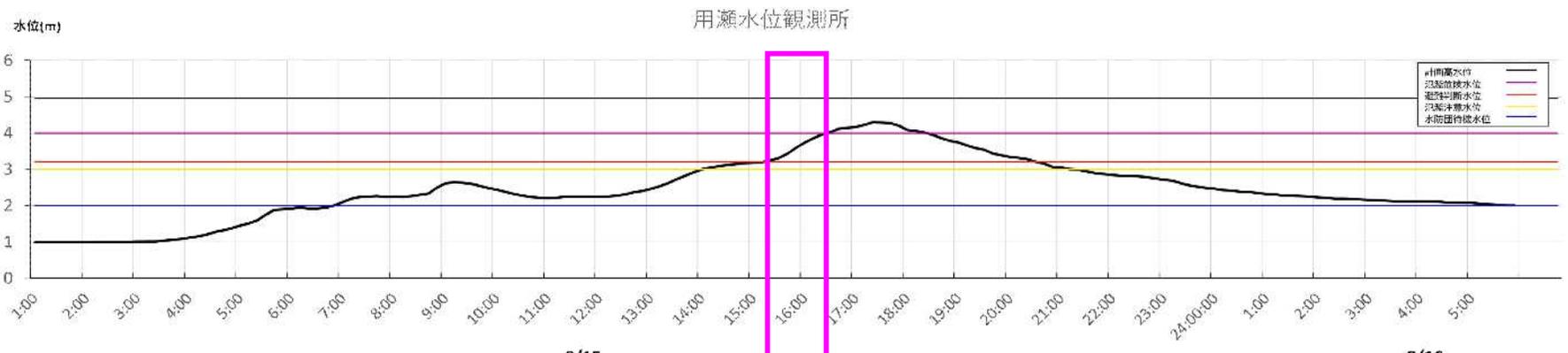


災害の発生イメージ



浸水被害 島根県江津市川越

【出典：平成30年7月豪雨の写真・動画（中国地方整備局 HP）より】



タイムラインレベル	1	2	3	4	3	2
千代川水系 (大庄管理区間) 河川水位						
用瀬		水防団待機・氾濫注意	避難判断	氾濫危険	避難判断	水防団待機・氾濫注意
	8/15 6:00	12:00	16:00	18:00		8/16 0:00

項目No.284 タイムラインレベルの移行判断・発信

鳥取河川国道事務所 河川管理課

※運用方法 P.17～20 参照

- ▶ タイムラインの発動時・レベル移行時には、鳥取河川国道事務所から検討会メンバー宛に、メールが届きます。

千代川水害タイムライン検討会メンバー各位

鳥取河川国道事務所河川管理課より、以下のとおり連絡します。

【重要】タイムライン段階（レベル）について

■千代川水害TLレベル3

主文：8月15日（月）15時20分に千代川水害タイムラインのレベルをレベル3に移行します。

理由：用瀬水位観測所の水位が避難判断水位に達したため。

千代川水害タイムラインポータルサイト

https://

新URL

https://

タイムラインレベル2→3

項目No.312 避難指示の発表

鳥取市



防災行政無線連動

Jアラート情報や防災行政無線と連動して、文字と音声メッセージの両方で自動配信。

【配信情報例】

緊急地震速報 国民保護情報
 気象特別警報 避難情報
 行方不明者情報 危険動物情報 ほか

緊急放送！
緊急放送！



同時放送



開設避難所一覧(避難指示、高齢者等避難) (8月15日 15:26現在)

開設避難所一覧								
避難所	所在地	開設日時	閉鎖時刻	世帯	男	女	計	備考
【避難指示の避難所】								
国英地区公民館	河原町山手459-1	15日08:07		2	2	4	6	
佐治町地域活性化センター	佐治町古市162-2	15日08:07		2	1	1	2	
佐治町コミュニティセンター	佐治町加瀬木2542-1	15日08:53		2	1	4	5	
【高齢者等避難の避難所】								
美保南地区公民館(2階以上)	叶286	15日08:07		1	0	1	1	
美保南小学校(2階以上)	宮長200-1	15日08:07		3	3	3	6	
河原町コミュニティセンター	河原町渡一木277-1	15日06:53						
用瀬町総合支所	用瀬町用瀬832	15日06:53		1	0	1	1	
若葉台地区公民館	若葉台南2丁目16-1	15日09:18						
大和地区公民館(2階)	倭文76-1	15日09:18						
鳥取県民体育館	布勢146-1	15日09:18						
国府町総合支所(2階)	国府町宮下1221	15日09:18		1	1	1	2	
鹿野町農業者トレーニングセンター	鹿野町鹿野342	15日09:18						
福部砂丘温泉ふれあい会館	福部町海士1013-1	15日14:38						
			合計	12	8	15	23	

※ 令和5年度 台風7号での開設避難所一覧

項目No.340 避難誘導の実施

郡家警察署

(11) 平成30年7月豪雨における警察活動

○ 救出救助活動



ボートによる救助活動に当たる広域緊急援助隊(奈良県警察)
【岡山県倉敷市真備町(まびちょう)】



救出救助活動に当たる特別救助隊(警視庁)
【広島市安芸区矢野東(やのひがし)】

○ パトカー等による警戒活動



コンビニの警戒を行う自動車警ら隊(岡山県警察)
【岡山県倉敷市真備町(まびちょう)】



臨時交番車で夜間警戒を行う警察官(岡山県警察)
【岡山県倉敷市真備町(まびちょう)】

(11) 平成30年7月豪雨における警察活動

○ 避難所での相談対応



避難所での相談対応に当たる警察官(広島県警察)
【広島県安芸郡坂町(さかちょう)】



避難所での相談対応に当たる警察官(兵庫県警察)
【岡山県倉敷市真備町(まびちょう)】



避難所での相談対応に当たる警察官(大阪府警察)
【岡山県総社市清音軽部(きよねかるべ)】

○ 交通渋滞の緩和対策



渋滞緩和対策のため交通整理に当たる警察官(広島県警察)
【広島県呉市天応大浜(てんのうおはま)】

【出典 : https://www.npa.go.jp/bureau/security/gallery/illustration_3-1.pdf】

訓練項目

➤ TL4では、以下の行動項目で訓練を行います。

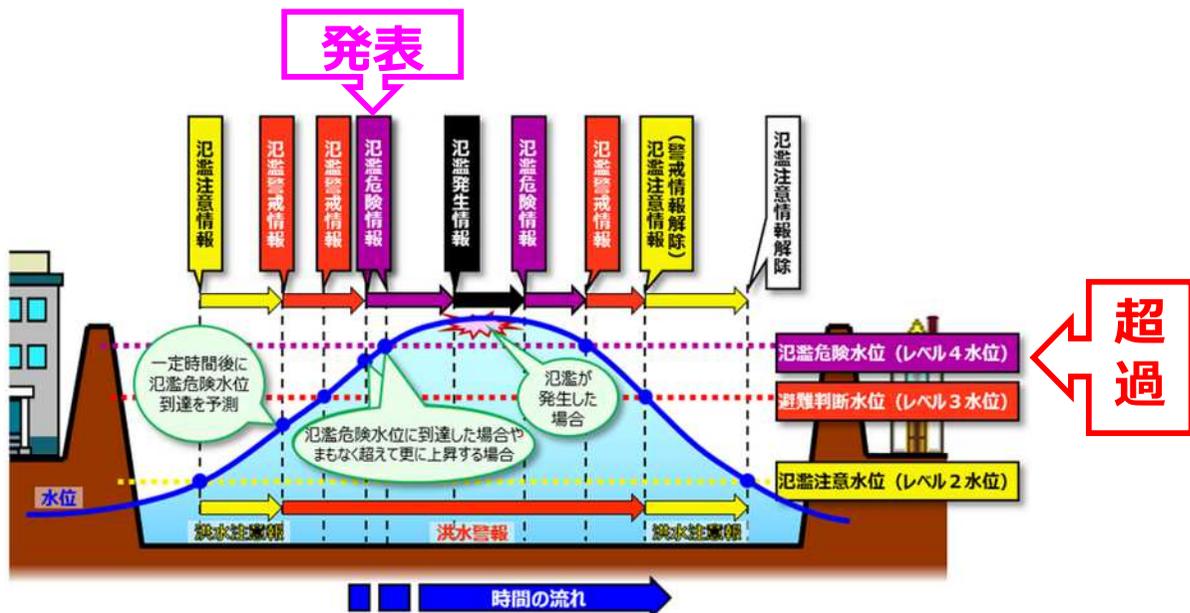
訓練No.	項目No.	TLレベル	行動項目		発信機関	備考
1-1	104	1	タイムラインレベルの移行	タイムラインレベルの移行判断・発信	鳥取河川国道事務所 河川管理課	
1-2	106	1	河川情報の収集	鳥取県の気象情報の確認	全機関	本項目のみ情報収集
2-1	192	2	水防警報の実施	水防警報の発令	鳥取河川国道事務所 河川管理課	
2-2	195	2		水防警報の情報受け、水防団への指示（出動）	鳥取市	
3-1	312	3	避難情報の発令	避難指示の発表	鳥取市	
3-2	340	3	住民避難	避難誘導の実施	郡家警察署	
4-1	485	4	バスの運休対応	バスの運行停止	日本交通	
4-2	517	4	交通情報の報道	交通情報の速報対応	日本海ケーブルネットワーク(株) メディア推進部	

状況 タイムラインレベル4

いずれかの水位観測所で氾濫危険水位の超過、氾濫警戒情報の発表

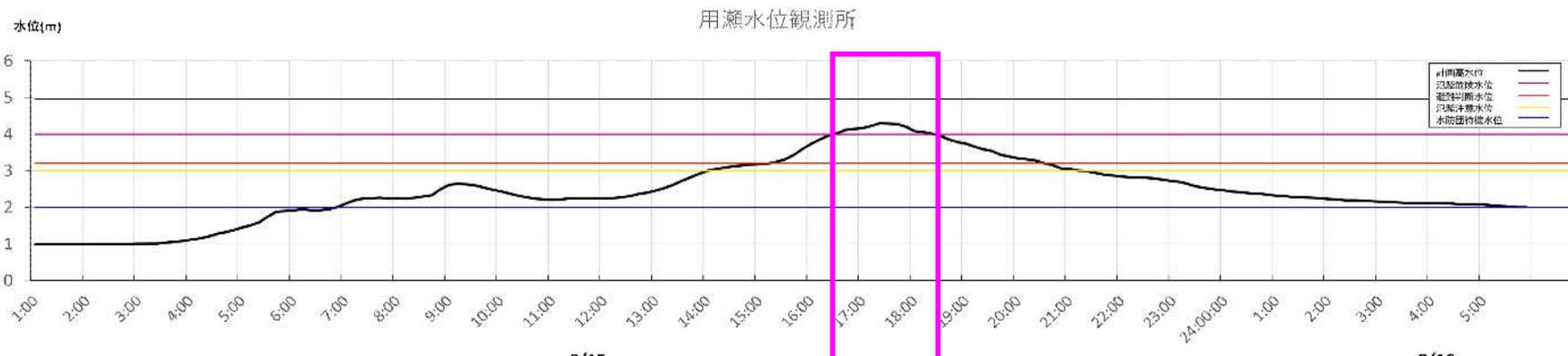
➤ 河川水位と危険度レベル

➤ 災害の発生イメージ



浸水被害 島根県江津市川越

【出典：平成30年7月豪雨の写真・動画（中国地方整備局 HP）より】



タイムラインレベル	1	2	3	4	3	2
千代川水系 (大庄管理区間) 河川水位		水防団待機・氾濫注意	避難判断	氾濫危険	避難判断	水防団待機・氾濫注意
用瀬						
8/15 6:00		12:00	注意	18:00	注意	8/16 0:00

項目No.393 タイムラインレベルの移行判断・発信

鳥取河川国道事務所 河川管理課

※運用方法 P.17～20 参照

- ▶ タイムラインの発動時・レベル移行時には、鳥取河川国道事務所から検討会メンバー宛に、メールが届きます。

千代川水害タイムライン検討会メンバー各位

鳥取河川国道事務所河川管理課より、以下のとおり連絡します。

【重要】タイムライン段階（レベル）について

■千代川水害TLレベル4

主文：8月15日（月）16時30分に千代川水害タイムラインのレベルを4に移行します。

理由：用瀬水位観測所の水位が氾濫危険水位に達したため。

千代川水害タイムラインポータルサイト

https://

新URL

https://

タイムラインレベル3→4

項目No.485 バスの運行停止

日本交通株式会社



日本交通株式会社



HOME



高速バス



タクシー
ハイヤー



路線バス
リムジンバス



貸切バス



採用情報



会社情報

Google 検索

運行情報

2023年8月15日

高速バス【台風7号】8/15(火)大阪・神戸・京都 ～ 鳥取・倉吉・米子・舞鶴・福知山線【全便運休】リムジンバス:なんば～関西空港線 8/15は始発より運休します。8/16の運行について

平素は、日本交通をご利用いただき誠にありがとうございます。

運休情報 | 運行情報

【台風7号接近に伴う高速バスの運行について】 8/15 16:30現在

台風7号の近畿地区接近に伴い、高速バス運行の運休が発生いたしましたのでお知らせします。

ご利用のお客様にはご不便をお掛けいたしますが、

何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

なお、運休情報の最新情報は当ページにてお知らせいたします。

※当社公式Twitterでも運休情報の同内容を発信いたします。

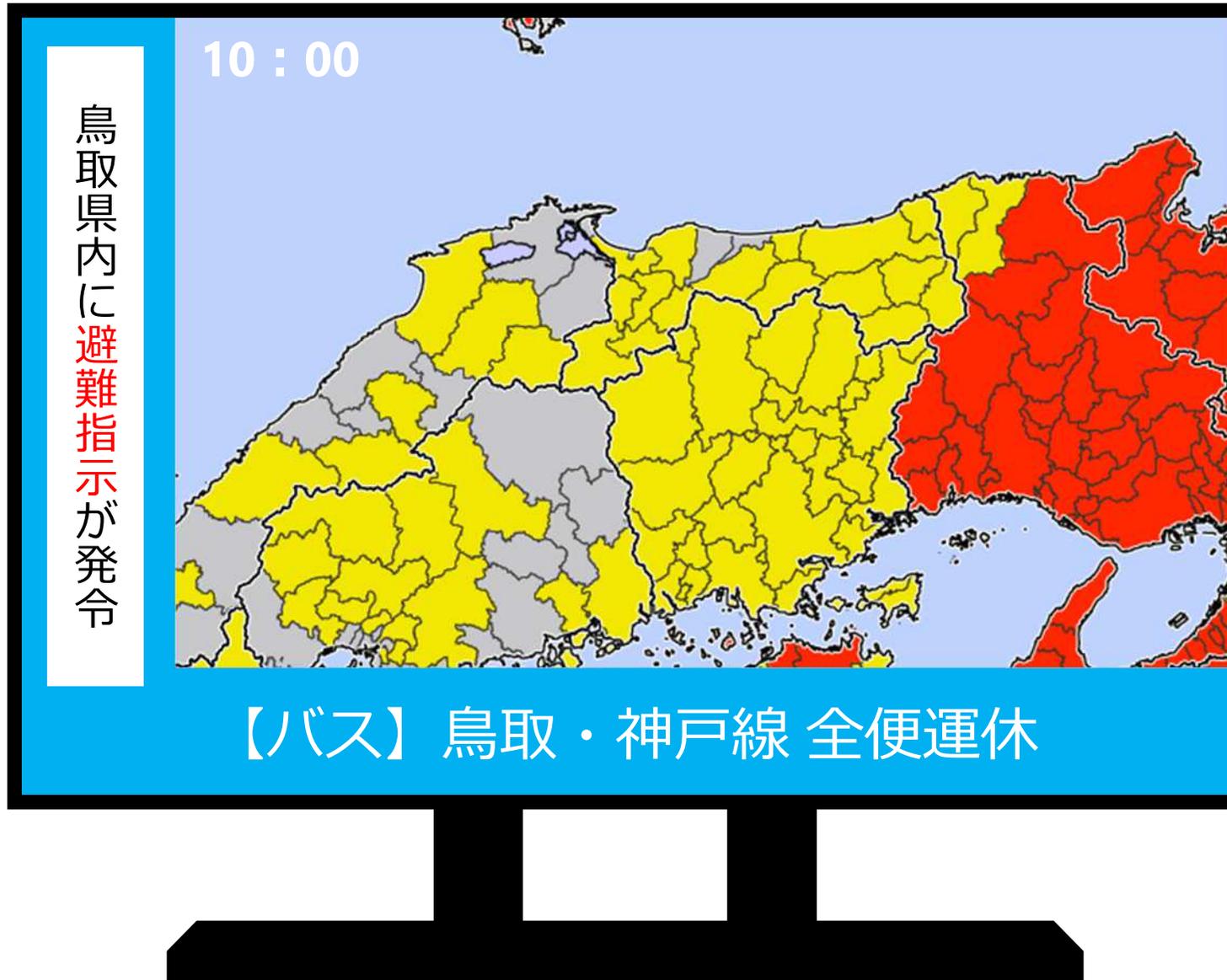
運休便

8月15日(火)

- ・米子～京都線 上下線とも全便運休
- ・米子～大阪・神戸線 上下線とも全便運休
- ・鳥取～大阪・神戸線 上下線とも全便運休
- ・倉吉～大阪・神戸線 上下線とも全便運休
- ・福知山～大阪・神戸線 上下線とも全便運休
- ・舞鶴～大阪・神戸線 上下線とも全便運休
- ・舞鶴～京都線 上下線とも全便運休

項目No.517 交通情報の速報対応

日本海ケーブルネットワーク(株)



意見交換

実施事項について、ワークシートを用いて各テーブルで意見交換をお願いします。

例) ●●について、より詳細な説明が欲しい。
 ××に関する情報の記載場所が分かりにくい。
 実際の対応では、○○だった
 ポータルサイトの使い方がわからないところがある。
 メールだけの通知だと、見落とす可能性がある 等



ワークシート (TLレベル1~2)

資料4

所属部署名		資料で取り上げられた実施項目を、TLレベル全体の活動内容について記載してください。		
TLレベル	実施内容	所属部署に属する活動 (自部署、ITセンター、システム部等)	近隣部署に属する活動 (総務部、経理部、営業部、生産管理部等)	その他
レベル1	104	システム運用の保守		
	108	システム運用の保守		
レベル2	192	システム運用の保守		
	195	システム運用の保守		

ワークシート (TLレベル3~4)

所属部署名		資料で取り上げられた実施項目を、TLレベル全体の活動内容について記載してください。		
TLレベル	実施内容	所属部署に属する活動 (自部署、ITセンター、システム部等)	近隣部署に属する活動 (総務部、経理部、営業部、生産管理部等)	その他
レベル3	212	システム運用の保守		
	240	システム運用の保守		
レベル4	489	システム運用の保守		
	515	システム運用の保守		

これで訓練を終了します

令和6年度スケジュール（予定）

令和5年度（予定）

第11回 検討会

R5年
7月27日

- 【内容】
- ・ ポータルサイトの改良報告
 - ・ スマートフォン版のポータルサイトの作成報告
 - ・ 情報伝達訓練の実施

出水対応 (台風期)

R5年
7月～10月

- 【内容】
- ・ 令和5年度 台風7号による 出水対応と課題の把握

出水後

R5年
10月下旬
～11月上旬

- 【内容】
- ・ 関係機関へヒアリング（アンケート）
⇒ 出水対応の課題、リアルタイムで共有すべき
防災行動の把握

第12回 検討会

R5年
12月14日

- 【内容】
- ・ 台風7号による出水状況の共有
 - ・ 出水対応に関するアンケート結果の共有
 - ・ 次年度の予定

令和6年度（予定）

第13回 検討会 (今回)

R6年
7月4日

- 【内容】
- ・ 本年度スケジュールの確認
 - ・ 水位を優先としたトリガー
 - ・ 情報伝達訓練

出水対応 (台風期)

R6年
7月～10月

- 【内容】
- ・ 千代川TL情報共有システム等を活用した
出水対応と課題等の把握

出水後

R6年
10月下旬
～11月上旬

- 【内容】
- ・ 関係機関へアンケート
⇒ 出水対応の課題、リアルタイムで共有すべき
防災行動の把握

第14回 検討会

R6年
11月下旬
(予定)

- 【内容】
- ・ 本年度試行するトリガーに関する 課題抽出
 - ・ 出水対応の 振り返り

皆様をお願いしたい事項

※運用方法 P.23～24 参照

① 出水対応の記録

無理のない範囲で、出水対応時の実施状況の記録をお願いいたします。

■ 千代川水害タイムライン【詳細版】

項目 No.	防災行動項目			実施状況 チェック欄		備考
	第1階層 (行動種別)	第2階層 (行動項目)	第3階層 (行動手段・手順)	開始時刻	終了時刻	
45	報道対応	気象・河川情報の報道	気象会社からの情報提供、 FAX、あんしんトリビュ メール、アラート等によ る情報収集	<input type="checkbox"/>		
46			情報内容の精査	<input type="checkbox"/>		
47			通常放送（洋楽ニュース、 気象コナ等）	<input type="checkbox"/>		
48		避難情報の報道	FAX、あんしんトリビュ メール、アラート等によ る情報収集	<input type="checkbox"/>		
49		交通情報の報道	鉄道会社への取材による情 報収集	<input type="checkbox"/>		
50			情報内容の精査（気象情報 の手帳確認）	<input type="checkbox"/>		
51		通常放送（日三連休情報）	<input type="checkbox"/>			
			<input type="checkbox"/>			
			<input type="checkbox"/>			

A. 「チェック欄」

行動項目に漏れがないよう、実施した行動についてチェックをつけて下さい。

B. 「実施状況チェック欄」

行動開始時刻と終了時刻をご記入下さい。

C. 「行動項目追加欄」

タイムライン記載以外で実施した行動を追記して下さい。対応機関、実施開始時刻、終了時刻もご記入下さい。

D. 「メモ欄」

課題や改善点等を記入する欄としてご使用下さい。

皆様にお願ひしたい事項

② 訓練でお気づきの点の共有

訓練で使用したワークシートは、タイムライン更新の参考とさせていただきます。

ワークシート (TLレベル1~2)

資料4

所属発表	訓練で取り上げた行動項目に限らず、TLレベル全体の行動内容について記載いただきたい情報です。				
TLレベル	訓練での行動項目	任意項目に関する課題 (ご質問、トリガー、記録手段等)	短時間での対応に関する課題 (原因発生等)	その他	
レベル1	107	タイムラインレベルの移行時・発生	30秒未満に発生する場合は、原因等も併せて記載していただく。また、ワークシートでは大きくFAXで送付する。	「緊急発生時に発生する緊急連絡」の発生時刻を速く、○の○の移動時間を見逃してはならない。	訓練項目抽出後、ポットラインに関する行動項目を整理する。
	108	退避経路の検索	退避経路の検索結果の記録		
レベル2	182	水防設備の点検			
	185	水防設備の高さ	水防設備の高さは、水防設備の点検時に、水防設備の高さを記録し、出庫する。		

お手数ですが、7月12日（金）までに下記担当者までメールもしくはFAXでご送付願ひします。不明点等につきましても、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

以降、参考資料

(1) 浸水時にバスを100台大移動（令和元年東日本台風）

- 千曲川の決壊により北陸新幹線が水没・廃車になるなど交通事業者への被害が出る中、長電バス長野営業所では決壊当日の早朝から路線バスを運休し、バスを避難させた。
- 移動先として土地が高く広い駐車場のある公園や国土交通省長野運輸支局の敷地を選定・調整し、続々と出勤した職員によって人海戦術でバスを移動させた。



→ 道路が冠水するなかでの車両避難の様子

出典) 乗りものニュース (令和元年11月16日)

POINT

バスを移動させることのできる広い駐車場を事前に把握しておいたこと、迅速な職員招集を行ったことにより、2~3時間での移動が可能となった。また、これにより2日後には通常の運行を再開することができた。

(2) 役立った地区の行動計画（令和元年東日本台風）

➤ 四方を川に囲まれた足立区では、小中学校など避難所135カ所に3万3000人以上が避難した。このうち、中川氾濫に備えた行動計画（コミュニティ・タイムライン）がある中川地区では、早い段階で対策会議や早めの避難所開設などの対応をとることができた。

＜避難所：長門小学校における被災時の主な対応＞

- ・ 台風が上陸する2日前の10日午前10時に地区の同小を避難所とする運営会議メンバーによる対策会議を開催
- ・ 中川氾濫に備えた地区の行動計画「コミュニティ・タイムライン」づくりにも協力したNPO法人「環境防災総合政策研究機構（CeMI）」は「**経験したことのない暴風や大雨、高潮、荒川・中川の氾濫が同時多発的に起きる可能性がある**」と最大限の警戒を呼びかけ
- ・ 地元の長門南部町会などは**注意喚起の文書を各戸に配布**
- ・ **避難者数に応じて特別教室や二階の教室も開放**（ペット連れは別室の会議室などで対応、体が不自由で支援が必要な高齢者などはカーペットがある部屋に案内）
- ・ 一階の避難物資の倉庫が水没する恐れがあるとして**校内放送で避難者に協力を呼び掛け**、約30人で物資を二階に移動
- ・ 子どもたちがストレスを抱えないように、校長の発案でDVDでアニメを鑑賞できる教室も設置



出典）東京新聞（令和元年11月13日）

POINT

東京東部の海拔「ゼロメートル地帯」に位置する中川地区は2015年の関東・東北豪雨で中川が氾濫危険水位に達して危機感を高め、平成30年度に中川氾濫に備えたコミュニティ・タイムラインを策定していた。

線状降水帯とは

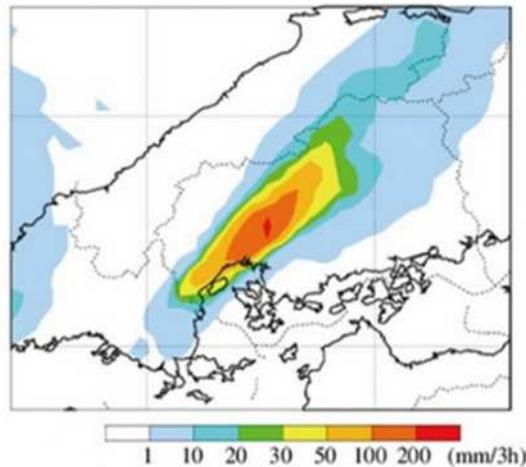
線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域を線状降水帯といいます。

毎年のように線状降水帯による顕著な大雨が発生し、数多くの甚大な災害が生じています。この線状降水帯による大雨が、災害発生の危険度の高まりにつながるものとして社会に浸透しつつあり、線状降水帯による大雨が発生している場合は、危機感を高めるためにそれを知らせてほしいという要望があります。

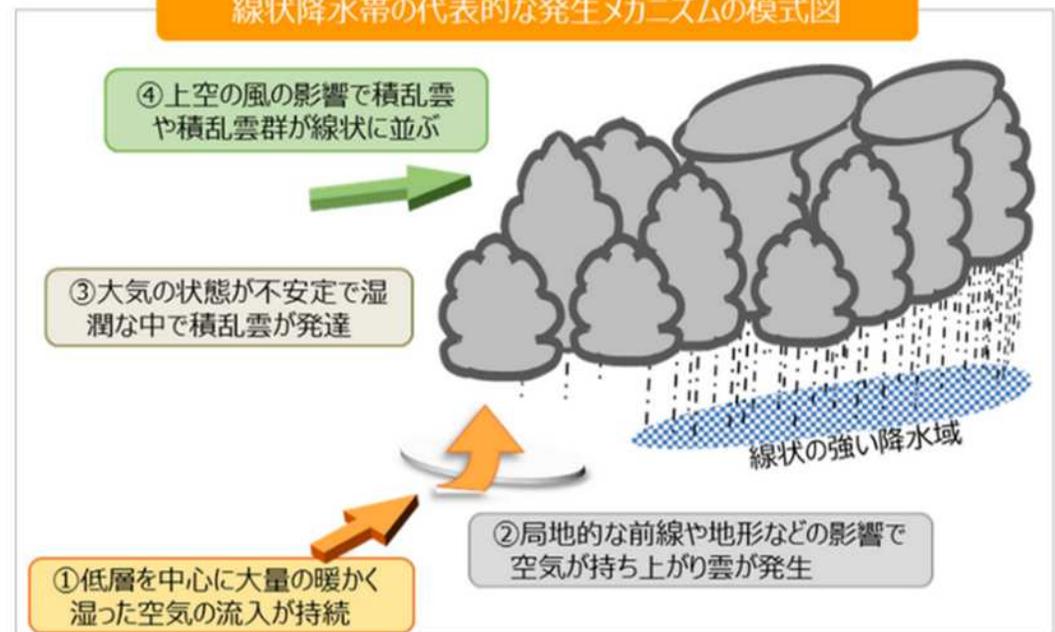
発生メカニズムに未解明な点も多く、今後も継続的な研究が必要不可欠です。

線状降水帯の例（平成26年8月の広島県の大雨）



気象庁の解析雨量から作成した、平成26年8月20日4時の前3時間積算降水量の分布

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



【出典：気象庁 HPより】

強い降雨に伴う河川の増水

晴れの日



雨が降り出してから5分後



水が増え始めてから10分後

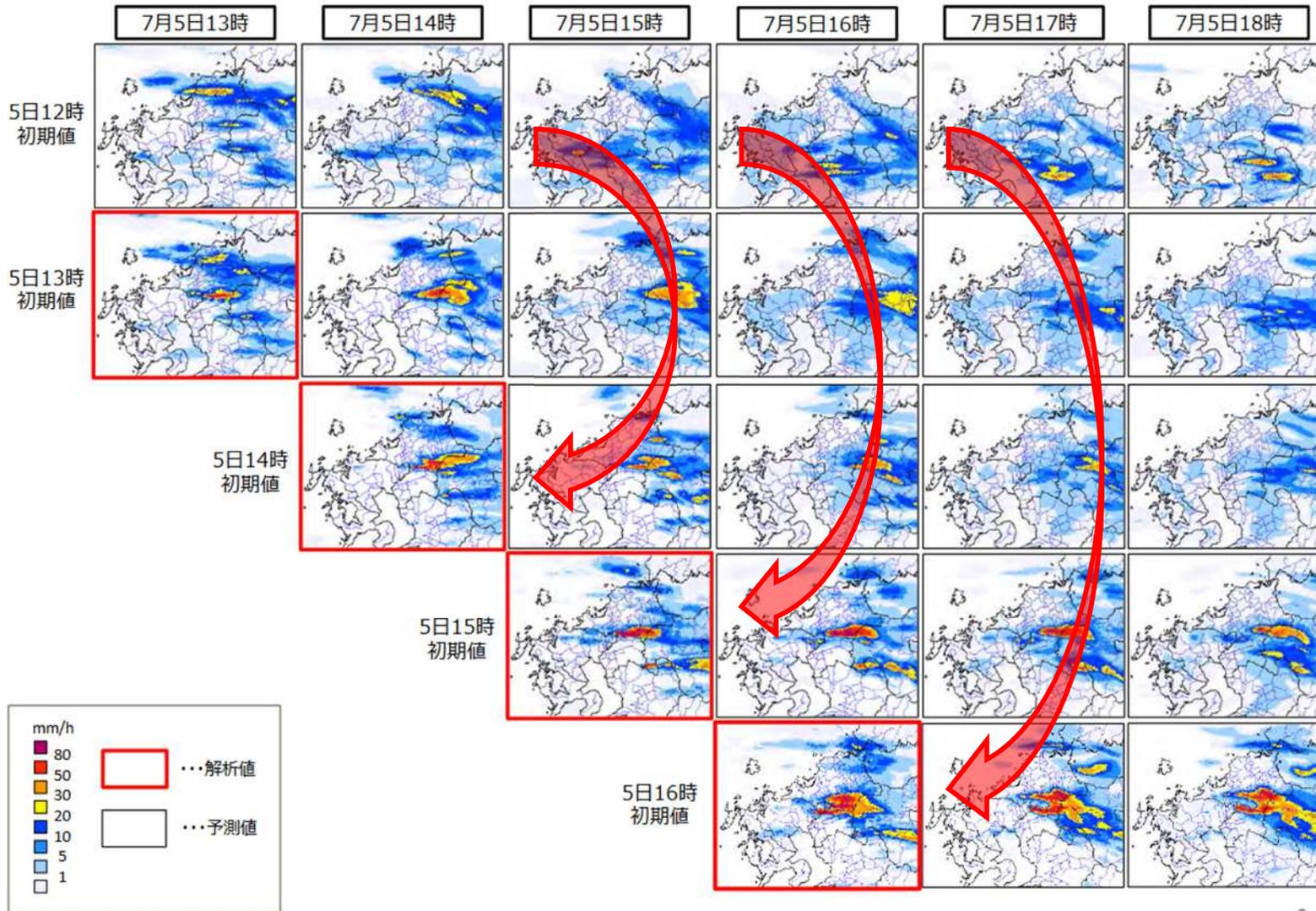


10分間で1.34mも川の水位が上昇

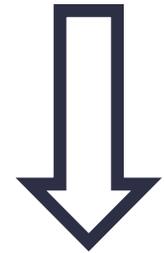
✓ 短時間の水位上昇に対する準備が必要

線状降水帯の発生事例

平成29年7月九州北部豪雨での事例



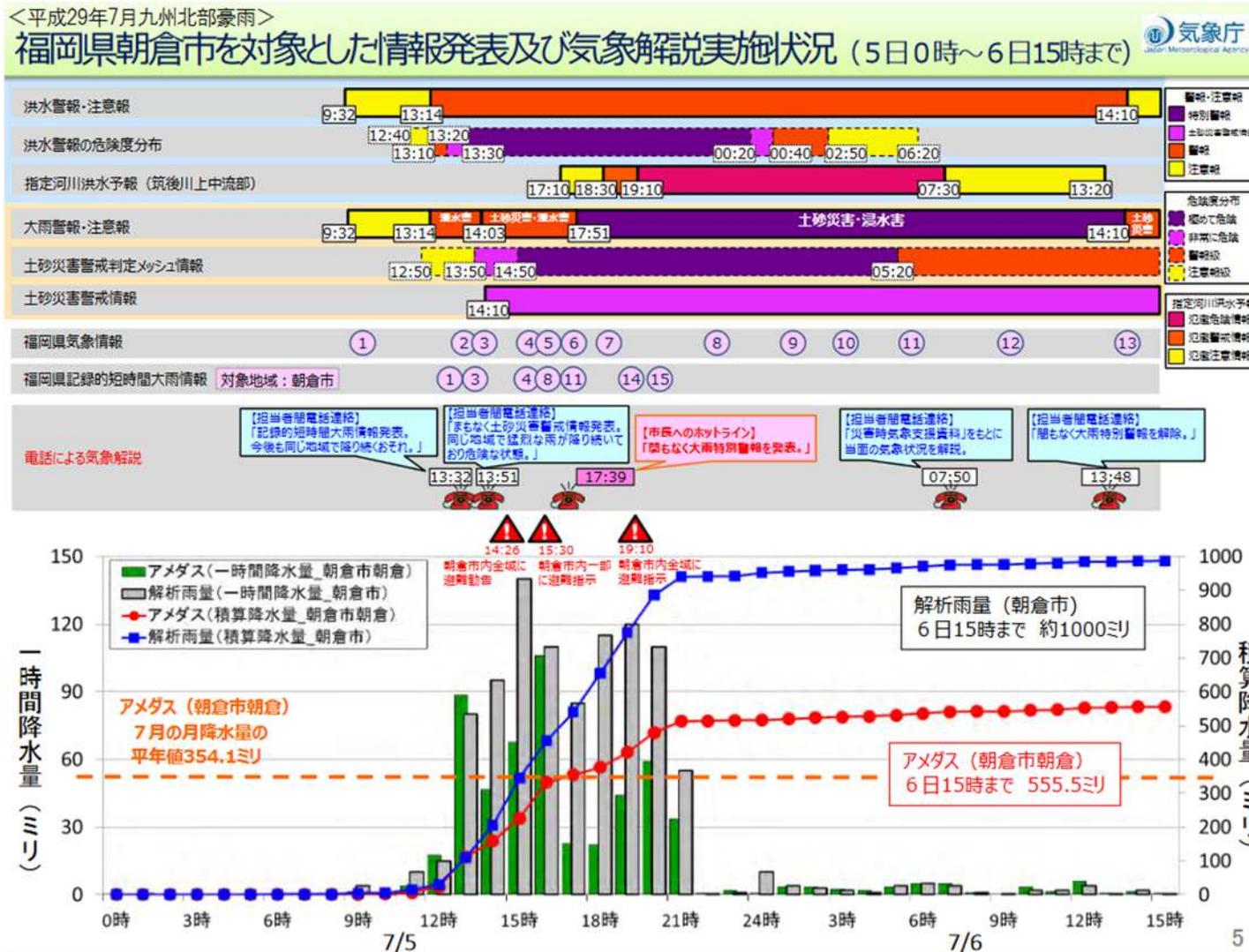
- 予測値と解析値に大きな差



- ✓ 予想外の短時間強雨が発生

線状降水帯の発生事例

平成29年7月九州北部豪雨朝倉市での事例



● 線状降水帯による予想外の猛烈な雨が発生



● 大雨注意報発表までの時間が短い



✓ 短時間での対応が必要

線状降水帯の災害事例

➤ 甚大な被害を出したH26年 広島市の豪雨災害も線状降水帯によるものです。

国土交通省砂防部
平成26年10月31日時点

平成26年8月豪雨による 広島県で発生した土砂災害への対応状況

- 1) 場所 : 広島県 広島市 あさみなみ 安佐南区、あさきた 安佐北区
- 2) 発災日 : 平成26年8月20日(水)
- 3) 被災概要(広島市)

- ・土砂災害発生件数 166件
土石流 107件、がけ崩れ 59件
(9月19日7時00分時点)
- ・人的被害
死者 74名
- ・家屋被害
全壊133戸、半壊122戸、一部損壊174戸
(9月19日16時00分時点 広島県災害対策本部より)



あさみなみ 安佐南区 やぎ 八木地区 あさみなみ 緑井地区
※国土地理院より写真提供

人的被害があった主な土砂災害箇所



あさみなみ 安佐南区 やぎ 八木地区

【出典：平成26年8月豪雨による広島県で発生した土砂災害への対応状況（国土交通省 砂防部）より】

線状降水帯の呼びかけ

➤ 線状降水帯は正確な予想が難しく、大雨災害発生の危険度が急激に高まります。

線状降水帯に関する各種情報

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけとは

「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たすような線状降水帯による大雨の可能性が高いことが予想された場合に、半日程度前から、気象情報において、「線状降水帯」というキーワードを使って呼びかけます。

この呼びかけは、警戒レベル相当情報を補足する解説情報として発表します。

線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることがあるため、心構えを一段高めていただくことを目的として線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを行います。この呼びかけだけで避難行動をとるのではなく、ほかの大雨に関する情報と合わせてご活用ください。大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられます。

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの留意点

- 線状降水帯による大雨の正確な予測は難しく、この呼びかけを行っても必ずしも線状降水帯が発生するわけではありませんが、線状降水帯が発生しなくても大雨となる可能性が高い状況といえます。
- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけがあったときも、地元市町村が発令する避難情報や大雨警報やキキクル（危険度分布）等の防災気象情報と併せて活用し、自ら避難の判断をすることが重要です。
- 線状降水帯だけが大雨災害を引き起こす現象ではないことから、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけがなくても大雨による災害のおそれがあるときは、気象情報や早期注意情報、災害発生の危険が迫っているときは大雨警報やキキクル（危険度分布）等の警戒レベル相当情報など、防災気象情報全体を適切に活用することが重要です。

線状降水帯の適中率

➤ 線状降水帯の**適中率は高くない**というのが現状です。

令和4年度出水期の実績～線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ～



7月5日	四国地方	線状降水帯が発生（高知県）	呼びかけできず	
7月15日	九州南部・奄美地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	
	九州北部地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	
7月18日	九州北部地方	線状降水帯が発生（長崎県）	呼びかけできず	
7月18日～19日	九州南部・奄美地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	
	九州北部地方	線状降水帯が発生（山口県、福岡県、佐賀県、大分県）	呼びかけを実施	適中
8月3日	東北地方	線状降水帯が発生（青森県、秋田県）	呼びかけできず	
	東北地方	線状降水帯が発生（山形県）	呼びかけできず	
	北陸地方	線状降水帯が発生（新潟県）	呼びかけできず	
8月4日	北陸地方	線状降水帯が発生（福井県）	呼びかけできず	
8月12日～13日	東海地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	
	関東甲信地方	線状降水帯が発生（伊豆諸島）	呼びかけできず	
9月3日～4日	沖縄地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	
9月5日～6日	九州北部地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	
9月17日～19日	九州南部・奄美地方	線状降水帯が発生（宮崎県）	呼びかけを実施	適中
	九州北部地方	線状降水帯が発生（熊本県）	呼びかけを実施	適中
	四国地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	
9月18日～19日	中国地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	
	近畿地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	
9月19日～20日	東海地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	
9月23日～24日	東海地方	線状降水帯が発生（愛知県、静岡県）	呼びかけできず	



地方予報区（全国を11ブロックに分けた地域）

令和4年9月17日16時45分
福岡管区気象台発表

大型で猛烈な台風第14号は、18日夜遅くから19日夕方にかけて九州北部地方にかなり接近する見込みです。九州北部地方では、記録的な暴風、高波、高潮、大雨となるおそれがあり、特別警報を発表する可能性があります。暴風やうねりを伴った高波、高潮、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒してください。また、九州北部地方では、18日午前中から19日にかけては、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

半日前からの呼びかけの例

【出典：気象庁 令和4年度出水期の実績～線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ～より】